

第 2 回住民座談会資料

※川西市転載許諾済み

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）	認知症のあるが自分で日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	系患が恋期するときの大災害のとき
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
57 個人	④ご近所とのつながりを作る ・お話ししませんかと誘う ・声をかけてもらう ⑤家族皆が元気でいる ・美味しい食事をする ・習い事をする ・趣味 ・日々笑顔で健康 ・家にこもらない ・自分の病気を知ってもら う ・認知症を知ってもらっために何かに一緒に参加し認知症を告げる ⑥優しい家族を作る ・隠したいことを勇気をもって話す ・会話 ⑧親しい友人を作る ・友達と楽しく	⑤家族皆が元気でいる ・できるだけ子供に迷惑にならないようにしたい ・夫に対してお互いストレスがかからないよう心掛け ・家事もしてもらう、動いてもらう ・健康管理 ・会話をたくさんする ⑥優しい家族を作る ・多少怒りっぽくなくても上手にかわしてくれる妻がいる ・楽しい気持ちを確認 ・家族は戦友のように生活する ・好きなことを促す ・これを助けてとお願いする ・O母のところに顔を出す	③人の役に立つことができ ・常に声をかける ・買い物に行くけどついでがないですかと聞く ・料理などおすそ分け ・隣の方が足が悪いので表の掃除 ④ご近所とのつながりを作る ・挨拶 ・話を聞く ・ご近所付き合い仲良く ・お茶会に誘う - その他 ・1対外トラブルを起こさないように言動に注意	⑤家族皆が元気でいる ・室内で軽く運動のできるもの ⑧親しい友人を作る ・散歩で休憩できる椅子 ・お茶する憩いの場 ・団欒できる施設 ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・歩いて行ける10人ぐら - いで集まる場所 ・食事できるところ ・団らんできる施設 ⑪黄色いハンカチ作戦 ・スーパが近くに欲しい ・公園のお花などを管理してくれる後継者 ⑫ユニバーサルデザイン ・駅から坂が多い、エスカレーターが欲しい、		

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	系惑項恋期 のとき 大災害のと
知人がた さんい る	④ご近所とのつながりを作る ・地域の行事に参加 ⑥優しい家族を作る ・認知症カフェと一緒に参加 ⑦認知症の知識を持つ（認知症の為に勉強会に誘う） ⑧親しい友人を作る ・仲間の会 ・同じ趣味のグループに参加（山野草の会） ・お話しできる所に行く	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立 ⑥優しい家族を作るA:外出 ・外に連れ出して欲しい ・家族は趣味も多く友人も多いのでこれからも続けてくれればうれしい ・家族の会や講演会へ勉強に一緒に行く ・応援してくれる人がいっぱいほしい ・孫、子供たちとの交流 ・車で会える場所、送り迎え ⑧親しい友人を作る ・認知症になっても交流を続けて欲しい ・共感できる場所探し 家族の会等 ・住み慣れた所にいたいという気持ちを家族として受け止めてほしい	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭仮等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立 ④ご近所とのつながりを作る ・自治会でのイベント ⑧親しい友人を作る ・一緒に話ができる仲間 ・3世帯の交流をたくさん ・同じメンバーばかり集まらないように ・自分から地域の役を受け ・一緒に連れ出してもらえ ・仲間 ・集合すると色々各地の情報がわかる ・世話になるだけでなく、自分でできる世話もしたい	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい ③人の役に立つことができ ・大和友愛クラブ幹事としてちよっと世話をする ・地域防犯パトロール隊の運営 ④ご近所とのつながりを作る ・老人会の活発な活動をしてほしい ・男性が参加しやすい場 ⑧親しい友人を作る ・認知症カフェが近くにあれば ・認知症、仲間の会があったら！ ・認知症家族を誘う会も ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・近くに歩いていける集会所	常に介護などの支援が必要	系惑項恋期 のとき 大災害のと

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	系惑垣恋期
行政 ○部局 ・ ○部局 ・ ○部局	⑤「家族皆が元気である」 ・年がいけば悪くなる所を予防する運動を行なう ⑤「家族皆が元気である」 ・病気の事を良く知る機会がほしい	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	①「相談する」 ・近くに相談できる場所があったらいい 今は地域包括があって良い ④「家族皆が元気でいられる」 ・痛くなる前に体操できる住民が楽しく健康になれる場所 ⑨「分かりやすい介護保険広報物」 ・認知症カフェ家族の会を広く知ってもらおう 広報大事 その他 ・病院の待ち時間がわかる	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほば寝たきりで意思の疎通が困難

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				緊急増悪期 のとき 大災害のと き
他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要
	家族	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は⑥優しい家族を作る ・身だしなみにきをつける ・余裕を持って対応して欲しい ・すべて許して欲しい ・楽しく過ごす ・優しい気持ちで接して欲しい ・家族が認知症になっとき大切にしなければと思う ・気兼ねなく接して欲しい ・5特別扱いしないで欲しい ・優しくしてほしい ・自分の話を聞いて欲しい ・ちょっとした時に声をかけて欲しい	買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している ②困っている人を早く見つけることができる ・SOS見守りネットワークに関わる人を増やす ④ご近所とのつながりを作る ・近所同士のつながりが大切 ・孤立させないようにして欲しい ・ちょっと声掛けて（気軽な声掛け、深く入り込む声掛けはしない） ・近所の方から、気付いたら声掛けしてもらいたい	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難 ①相談をする ・身近に相談できるケアが頼めるところがあること ③人の役に立つことができ る ・簡単なことをしてくれるボランティア ⑥優しい家族を作る ・預かって欲しい ・安心して預けられる場所 ⑧親しい友人を作る ・本人を動かすような仕組み作り ・本人達が認知症と言える場所 ④いつでもだれでも行ける場所がある ・食事ができる所 ・同じ悩みを持つ者同士が話せる場所 ・ストレスがたまらない、集まる場所 ・MCIの人が集まれる場所があれば ③わかりやすい介護保険の広報物 ・情報が分かりにくい ・SOSネットワークの情報を分かりやすく	着替え、食事、トイレ等がうまくできない ①相談をする ・医療のことを気軽に相談して欲しい ③わかりやすい介護保険の広報物 ・SOSネットワークなど市の取り組みをもっと伝えて欲しい

60

家族

地域住民 民生委員 老人クラブ PTA ○○ サークル その他 (たくさん)	③人の役に立つことができ る ・自分の特技を活かせる ・本人ができることを尊重 して手助けをし自らやらせ る ⑥優しい家族を作る ・迷惑をかけないようにす る(家族他、他人様に) ⑫自分の好きなことができ る ・朝の体操で体を動かす ・自分のことができるよう に頑張る	⑥優しい家族を作る ・家族が本人の意思を考え てお付き合いをしてほしい	⑧親しい友人を多く作る ・人の集まる話し合いに 誘ってほしい	③人の役に立つことができ る ・役に立てる場がほしい ・元学校の先生が勉強を教 える場 ・スマイル(手助け)ボラ ンティアの設置 ⑨親しい友人を多く作る ・認知症があっても気軽に 集える場 ・気軽に立ち寄れる場所 や、居場所があるとよい ・サロンのなおしゃべりで きる場所 ⑫自分の好きなことができ る ・体を動かせる場所 ・集いの場への送迎 その他専門病院		
域資源 ダイの送 迎車等 ① コンビニ 新聞配達 宅急便 郵便局 放送局 警察署 (たくさん)	②困っている人を早く見 つける ・話を聞く(2) ・困っている人を見たら少 しでも助けてあげる ・話しかけることができる (介護者という時も声をか ける) ④ご近所のつながり(②の プロセス) ・声をかける	⑥優しい家族を作る ・話を聞いてほしい ・声をかけてほしい	④ご近所のつながり(②の プロセス) ・ご近所と仲良くする	③人の役に立つことができ る ・今日のような気軽にでき る座談会 ④ご近所のつながり(②の プロセス) ・助け合いができる仕組み ⑦認知症の知識をもつ(疾 患限定) ・地域での勉強会や話し合 いの機会 ⑪黄色いハンカチ ・外に出れないので考えて ほしい		

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				常に介護などの支援が必要	糸心が自覚期 のとき 大災害のと き
他覚的 な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	大災害のとき
個人	④ご近所とのつながりを つくる 挨拶 ・地域の人の顔を知って おく ・挨拶 声掛け おしゃ べり (2) ⑤家族皆が元気でいる ・健康、食事に気を付け る ・気分転換 ・健康診断 ・自宅でラジオ体操する ・できることは自分です る ・おかしいと思ったら ちゃんと言う ⑥優しい家族を作る ・認知症になっても笑顔 でいて欲しい ・笑い ・仲良く皆が笑えるように ⑨親しい友人を多く作る ・ベンチ・サークル・サロ	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は①認をする インフォームドコンセント（本人を排除しない） ・介護職してまで介護してほしくない ⑤家族皆が元気でいる ・ノルディックウォークをする ・仲良く、みなが笑えるように ・ラジオ体操に誘う ⑥優しい家族を作る ・できることは奪わない ・家族みんなが仲良くする。	③人の役に立つことができて 心配されすぎはしない ・自治会の役割を担う ④ご近所とのつながりをつくる 挨拶 ・作った花を近隣の方に配る ・ふれあいの場に誘う ⑦認知症の知識を持つ 市民講座の開催 認知サポ ・住民として認知症の知識をつける	④いつでも誰でも行ける場所がある ・ジムが近くに欲しい ・いつでも行けるサロ ン、ふれあいの場 ラジオ 体操やヨカなどみんなです るものが地域にあるう	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ憶えたい りて意思の 疎通が困難

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	糸心と意識が のとき 大災害のと き ほぼ寝たき りで意思の 疎通が困難
地域資源 ・デイの送迎車等 ・コンビニ ・新聞配達 ・宅急便 ・郵便局 ・放送局 ・警察署 (たくさん)	②困っている人を早く見つける ・勇気をもって声をかける ・友人との交流を大事にする ・疎遠にならないようにする ・ゴミ出しの時に声掛けをする ③人の役に立つことができて ・おかしいなと思ったら声をだすようにいう	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は③人の役に立つことができて ・車ですてあげられる ・ゴミ出しの手伝いなど小さなことから ・車に乗せて困っている人のサポート ・ちょっとした外出の手伝い(送迎) ・ありがたうと言ってもらえるような ・買い物を手伝う ・お話を聞いてあげる ④ご近所のつながり(②のプロセス) ・知っていることがあれば言っておける ・心が通じ合う地域 ・出会った人に声をかける	③人の役に立つことができて ・車ですてあげられる ・ゴミ出しの手伝いなど小さなことから ・車に乗せて困っている人のサポート ・ちょっとした外出の手伝い(送迎) ・ありがたうと言ってもらえるような ・買い物を手伝う ・お話を聞いてあげる ④ご近所のつながり(②のプロセス) ・知っていることがあれば言っておける ・心が通じ合う地域 ・出会った人に声をかける	③新しい友人をつくる(サロン、ベンチ、サークル) ・コーヒーソムリエ、サロン ④いつでも行ける場所がある ・困っているときに駆け込める場所がある ④黄色いハンカチ ・マーク(認知症110番)のある家がたくさんある	④黄色いハンカチ ・支援をポイント制にする(自分に返ってくるような仕組み) ・子供の見守り ・子ども110番のような認知症の方の駆け込みマーク ・安価な介護タクシー	

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	糸島市で災害のとき
行政 部局○ ○ ・ 部局○ ○ ・ 部局○ ○	⑤「家族皆が元気でいる」 ・主治医がある	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は⑤「家族皆が元気でいる」 ・主治医がある ①「相談する」 ・介護職に就いてほしい	③「人の役に立つことできる」 ・緊急な時にお手伝いできるように登録する（そんなボランティアがあれば）	⑩「黄色いハンカチ作戦」 ・急な対応をしてくれるところ ⑤「家族皆が元気でいる」 ・近隣に健康食も買える場所 ⑩「いつでも誰でもいい場所がある」 ・聞いてほしい方が話せる場所	⑭「ユニバーサルデザイン」 ・傘つきの車いす ⑮「分かりやすい介護保険広報物の作り方と使い方」 ・介護段階に応じた質の良いサービスを受けることができる ・認知の程度に応じた施設を紹介してほしい。 ・詳しい医療情報発信（どこでどんな治療をしているのか） ・介護の限界が見えたら相談、紹介してもらいたい。施設の現状がタイムリーにわかる一覧表 ・自宅近くに施設が欲しい	ほぼ憶えたいで意思の疎通が困難

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭返等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	緊急増悪期のとき 大災害のとき ほほ寝だきりで意思の疎通が困難
個人	③人の役に立つことができ ・介護されてる人が喜んでくれていると感じる ④ご近所とのつながりを作る ・家族と過ごす時間・周りの人（家族と知人）を大切にする ・周りの人を大事にする ・家で一人ではない ⑤家族皆が元気でいる ・楽しみに大事にする ・常に楽しみを持つようにしている ・趣味・・・24趣味は続けた ・目標を持って生活す ・パソコンを習いたいと思う ・定期健診で病気の早期発見 ・明るくよく笑う ⑥優しい家族を作る ・おともだちを作る ⑦親しい友人を作る	⑤家族皆が元気でいる ・1年に1回の健康診断を受ける ・検診にしっかりと行ってほしい ・共通の思いでを会話 ・健康であってほしいです ・会話を大事にして心身の变化に気づけるようにする ・食事栄養バランスとってほしい ・ストレスなく過ごしてほしい ・自分の時間が欲しい ・各自楽しみを持っている ⑥優しい家族を作る ・イベントを大切に誕生日・クリスマス・ ・家族との時間を持つ ・主人といつまでも仲良く ・家族で食事・ ・ご機嫌な時間をたくさん持つてほしい ・家族の個性を評価する ・相手の（家族）気持ちを理解する	③人の役に立つことができ ・まず挨拶から ・ご近所との挨拶を欠かさない ・ゴミだしや挨拶などの時に様子からなんとなくでも汲み取るようにしたい ・ゴミ捨てなどでよく顔を合わせてた方としばらく合わないとそれとなく様子をうかがう ④ご近所とのつながりを作る ・近所はつかず離れずの関係であること ・連絡を取り合う ・ちょっとおせっかいも必要かも	⑧親しい友人を作る ・（認知症介護者から）同じ病気のひととのつながりを大事にしたい ・気楽に集える居場所 ・支えあう人々の笑顔と余裕 ⑨黄色いハンカチ作戦 ・支えあいのしくみが欲しい	

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期するとき
行政 部局〇〇 ・ 部局〇〇 ・ 部局〇〇	⑭「分かりやすい介護保険広報物の作り方と渡し方」 ・どこにどのような介護サービスや医療サービスがあるかという情報だけでなく、どのような状態の時にどのサービスを受けることが適切なのかを知っておきたい ・一方向の情報を鵜呑みにするのはなく、いろいろな情報の中から自分で選べるようにしたい ・必要なサービスの勉強をする	①「相談する」 ・主人が物忘れがあるの で、検診をして早めに薬 (治療)してほしかったの ですが、まだ何ちできている ないので心配。これからど こまですればよいかわから ない ⑤「家族皆が元気でいる」 ・簡単に諦めず、豊かに生 活できる話し合いをする	③「人の役に立つことが出る」 ・(近所の認知症介護の経験者からいろいろ言われるが)「人それぞれよ」と 言ってほしい。 ・親切心のつもりが過干渉になるおそれがある ・足りないものを協力して作る	⑦「認知症の知識をもち」 ・認知症＝アルツハイマーと いつかなえ方を改めてほしい ・認知症＝なにもわからない 人という認識を改めてほしい ・見守り、声掛け(優しく!)、連絡 ・徘徊している人に気づいて (地域みんな)あげられるよう なシステム ⑩「いつでも誰でもいける場所がある」 ・認知症の本人が集える場所 があったらいいな。 ⑬「分かりやすい介護保険広報物の作り方と渡し方」 ・情報交換が出来る治療とか サービス ・わかりやすい説明(情報提供) 「その他」 ・地域の病院での家族への説明をわかりやすくしてほしい ・認知症の専門医が近くになるので居てほしい ・病院の看板を改めてほしい。 (「物忘れ外来」等) ・早くお薬の認可をしてほしい	常介護が必要 ・着替え、食 事、トイレ等 がうまくでき ない	緊急増悪期 ・とき ・大災害のとき ・ほぼ憶たきり ・で意思の疎通 ・が困難

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいのか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）					
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分では日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき 大災害のとき ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
家族	⑤家族皆が元気である ・健康な時間を長くする (2) ⑥優しい家族を作る ・否定しない ・共にする時間を持つ	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立している	⑦困っている人を早く見つけることができる ・自分が留守にしているも家族を見てくれるサポート体制 ・周囲の見守る（雨戸、灯りのチェック）	⑧人の役に立つことができる ・夢かなえ隊 ⑨いつでもどこでも行ける場所がある ・バス路線以外の支線 ・いつでもいくことのできる知人が集う常設の場所	⑩相談をする ・医療介護施設の更なる充実	
67 知人がた くさんい る。	④ご近所とのつながりを作る ・会話（情報） ⑦認知症の知識を持つ（疾病限定） ・病気になるた人の気持ち を理解する ・感情を大切にす	④ご近所とのつながりを作る ・自治会に加入し、行事への参加（本人のみでは十分かも？家族ごと） ・近隣との関わり ごみ出し、自治会の範囲内より ⑤親しい友人を作る ・老人会等への参加 ⑥いつでもどこでも行ける場所がある ・高齢者が集まる会合などに積極的に連れて行ってあげる	③人の役に立つことができる ・ゴミ出しを協力する ・自分ができることだけそれ以上は無理しない ・ゴミ出し、本人宅前にポットを置き、ボランティアがゴミ置き場へ ⑧親しい友人を作る ・三世代交流 ・子ども会、自治会、老人会の交流 ⑨いつでもどこでも行ける場所がある ・介護者同士が集える場 ・高齢者、子供と一緒に楽しめる集まりを自治会が中心となって行う	③人の役に立つことができる ・ゴミ出し協力制度		

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき 大災害のとき ほぼ寝たきりで意思疎通が困難
地域資源 ・デイの送迎車等 ・コンビニ ・新聞配達 ・宅急便 ・郵便局 ・放送局 ・警察署 (たくさん)	③人の役に立つことができる ・子供の見守り隊の協力(認知症の方も) ④ご近所のつながり(②のプロセス) ・井戸端会議的なおしゃべりによる情報交換により大きな情報が入る ・高齢者との信頼関係の構築	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	②困っている人を早く見つける ・認知症行方不明SOS ③人の役に立つことができる ・人材から人財へ ④ご近所のつながり(②のプロセス) ・自治会に加入(参加)してもらう ・認知症の方が間違ったゴミ出しをしないように協力できる体制 ・ちょっとした手助けをしてくれる施設を教えあげること ⑦認知症の知識をもち(疾患限定) ・近所の人が認知症他要介護になった時どのような対応をすればよいかを教えてあげられるようにする	②困っている人を早く見つける ・有料でもちょっとした手助けがあれば ・いろいろな手助け情報の選択ができるような相談窓口があること ・いつでも話を聞いてくれる電話窓口 ・宅配弁当での見守り(500円弁当 本人必ず在宅手渡し 150円負担 業者見守り 市) ・見守り(生協の宅配・配食事業者による ヤクルト) ③ヒトの役に立つことができる ・買い物難民の手助け(時間・場所決めて) ・病院の送迎バス ④ご近所のつながり(②のプロセス) ・地域内の行事(喫茶とか)	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったたら嬉しい」ことを書き出す。）				糸心自治会期 のとき 大災害のと き
他覚的な 状態	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	大災害のとき
	認知症なし	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	買い物や事務、金銭返等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほほ寝たきりで意思の疎通が困難
地域住民・民生委員・老人クラブ・PTA・〇〇サークル・その他（たくさん）	①相談する ・介護に関する相談を受けるときは相談に乗る ④ご近所とのつながりを作る ・挨拶する ・気軽に挨拶する ・顔を合わせたとき笑顔 ・声かけ ・なるべくたくさん会い、少しでも会話する ・雑談	④ご近所とのつながりを作る ・地域の情報を集める ・ご近所の方に本人が認知症であることを知らせ、症状も知らせる 6優しい家族を作る ・いつも話し合う ・様子をうかがう声掛け ・本人に直接 ・挨拶をさせる ・コミュニケーションをとる ・声をかける ⑩いつでも誰でも行ける場所がある ・地域の集まりに一緒に参加する	①相談する ・何かあった時の連絡先を知っておく地域の担当者・自治会などと交流をもつ ③人の役に立つことができる ・家の前を通る時には、気にかけておく ④ご近所とのつながりを作る ・散歩する ・気を付けてあげる（声かけ時） ・挨拶する ・挨拶する相手（認知症の人）話しやすい相手になっていく様にする ⑨親しい友人を多く作る ・催しを作る（交流）	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい ①相談する ・認知症の方が仕事ができる（人の役に立てる）相談コーナー ・気軽に相談できる窓口（いつでも、何度でも） ⑨親しい友人を多く作る ・気軽に集まって話し合える場所が欲しい ・定期的に顔を合わせる場を設ける	

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいのか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				
	認知症なし	認知症があるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要
他覚的な状態	⑤家族皆が元気である ・食事（よく食べる） ・おしゃべりする ・ぼーっとする時間を持つ ・時間を大事に使う ・適当に体を動かす41趣味を持つ・ ・歌う ⑥親しい友人を作る ・出かける ・人の多い所に参加する	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	⑤家族皆が元気である ・変化に気づく ・会話する ⑥優しい家族を作る ・喧嘩のできる家族関係でいる ・家事を手伝う ・お互いの両親を思いやる ・感謝の言葉を言う ・家族とかわる時間を多くする ・自分のことは後回しにして用事をすませる ・話をよく聞く ⑦親しい友人を作る ・まじめに仕事する ・お金を稼ぐ	⑤物忘れはあるが自分で日常生活は自立している ⑥金銭管理や、買い物、書類作成、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立 ⑦近所とのつながりを作る ・普段と変わらずにい欲しい ・声掛け ・思いやりを持つ ⑧親しい友人を作る ・古い歌を聴く会 ・セルフケアの場所 ・安心して話せる場所がある ・言動の理解ができる場所 ・愚痴を話す場 ・話せる場所 ・勉強会 ・ウォーキング教室 ・働ける場所 ・交流できる場所 ・お茶を飲むサロン ・お茶飲み会 ・定期的に集まって世間話が	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない
71個人					糸苅垣恋翔 のとき 大災害のとき ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

他覚的な状態	認知症なし	認知症があるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	糸心頃忘れたとき のとき 大災害のとき ほほ寝たき りて意思の 疎通が困難
家族	⑥優しい家族を作る ・笑って明るく接する ・挨拶をする ・感謝の気持ちを伝える ・ゆっくりに喋る ・会話を大事にする ・自分が楽しいこと ・ストレスをためない ・自分の役割をつくる	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立 ③人の役に立つことができ ・自分の仕事を作って欲しい ・親の交友関係を聞かせる ⑥優しい家族を作る ・たまに旅行に行く ・食事にでかける ・一緒に楽しむ ・時間を作って遊ぶ ・話すこと(2) ・いつまでもおいしい食事を作ってほしい ・食事を一緒にする ・一緒に食事をしない ・同じ話をしても聞いて欲しい ・正直に思っていることを言 ・お金の負担をかけない ・記念日、誕生日を祝う16 ・できないことがあっても怒らないで欲しい ②自分の好きなことができ ・自分たちの時間を大切にす	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭仮等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立 ②困っている人を早く見つけることができる ・困っていることに気づく ・安否確認 ・間違っていることを教えて欲しい ③人の役に立つことができる ・愚痴を聞いてくれる ④近所とのつながりを作る ・いつも通りに接して欲しい ・優しく接する ・大声を出さない ・ゆるやかな見守り ・あまり愚痴を言わない ・プライベートに入り込まない ・自分の考え方をおしつけて欲しい ・程よく関わりを持って欲しい ・距離感を保つ ・自治会活動への参加 ⑥優しい友人を作る ・多様性を重視して欲しい ・選択肢を数多くして欲しい ⑥いつでもだれでも行ける場所がある ・自分を連れ出してくれる行事	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい ⑥優しい友人を作る ・おしゃべりができるところ ⑥いつでもだれでも行ける場所がある ・移動手段 ・買い物に連れて行って欲しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない ⑥優しい家族を作る ・家族の休養ショートステイの利用	

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	系心い苦悶期 のとき 大災害のとき ほぼ優たき りて意思の 疎通が困難
知人がた くさんい る	③人の役に立つことができる ・話をよく聞いてあげる ・人の話をきけること ④ご近所とのつながりを作る ・楽しい話題をする ・自分から話しかける ⑧親しい友人を作る ・欠点を言わない ・愚口を言わない ・良いところをほめる ・人の意見を受け入れる ・7.謙虚な心で接する ・自慢話をしない ・見栄を張らない ・我をはらない ・同じ趣味をもつ ②自分の好きなことができる ・趣味を大事にする ・趣味をもつこと 土台：前向きな気持ちで積極的 行動・感謝と思いやり ・積極的に活動に参加する ・年をきにしない	⑥優しい家族を作るB:交流 ・おこづかいが欲しい ・昔話をする ・交友関係に干渉しないであし ・7.忘れていた約束を覚えてほし ・家族に交際係を知ってもらい つながりをもっておく ・交友関係を知っていてほしい	③人の役に立つことができる ・地域の困った事を解決する ・地域ボランティア活動 ④ご近所とのつながりを作る ・広い年齢の人と交流を持つておく ・情報交換 ・大学など若い方との交流 ・共通の楽しみを持つ ・昔の知恵を教えてもらえる 場所づくり ⑧親しい友人を作る ・家族同士のコミュニティをもち ・同窓会の企画 ・時々会って遊ぶ ・趣味の世界（囲碁・将棋・ゴルフ） ・認知症カフェ（悩みの共有 ・介護者家族同士のかわり） ⑩いつでもどこでも行ける場所がある ・場所の提供 ・愚痴など家族や援助者の会を持つ（行政っぽくないも	⑩いつでもどこでも行ける場所がある ・情報が欲しい ・なし ・ティザーサービスを利用する	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）					
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	緊急増悪期のとき 大災害のとき ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
個人	⑤. 家族皆が元気である ・入浴中にリンパを刺激する ・健康に気をつける ・何でも自分でする ・トマトジュースを飲んでいる ・玉ねぎスライスを寿司酢をかけて食べる ・食べ物栄養を考え調理 ・畑仕事 ・有酸素運動 筋トレをしてます ・ヨガ ・歩く ・クヨクヨ考えない ・そろばん遊び ・新聞読み 3、4時間かけて ・新聞やテレビ ・友達と話す ⑥. 優しい家族を作る ・笑顔 ⑦. 不便を楽しむ ・切符を買う時ブリパードカードを使用せず自分で調	⑤. 家族皆が元気である ・食事の管理 ・死ぬ時は言ってお互いにストレスが、掛からない様心がける ⑥. 優しい家族を作る ・孫がマッサージをしてくれる ・毎月1回は必ず車で買い物をしてもらっている。特に重たい物 ・話を聞いてほしい ・娘からもう少し連絡してほしい ・毎月、伊丹こども館トワイライトに一緒にいきたい ・料理を今 充分にしている ④. 近所とのつながりを作る ・声掛け	④. 近所とのつながりを作る ・ネコの放し飼いはやめてほしい(2) ・主人の愚痴を聞いてもらったり聞いたり ・お茶飲み ・笑顔であいさつ、ふれあいたい(2) ・声掛けてもらう	⑩. いつでもだれでも行ける場所がある ・電車の駅は家の前なのにお店がない。ファミリマーのようなのがある ・スパーが近くにあっていい歩いている ・卓球が気軽に出来る施設 ・空き家利用 近所でカフェ的な皆が集まる場所 居場所作り ⑪. 黄色いハンカチ作戦 ・買物が全て遠距離で自治会で野菜、産直、豆腐、パンを販売している高齢者に喜んでもらっている ⑫. ユニバーサルデザイン ・芝生のある広場 ・公園に時計があったらいいな ⑬. 親しい友人を作る ・習い事 体操、料理、おしゃべり会		

他質的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき 大災害のとき
知人がたくさんいる 75	土台：前向きな気持ちで積極的行動・感謝と思いやり ・笑顔 忘れないこと ⑧. 親しい友人を作る ・人の事はいいわない ・自分から友人に会いに行く ・よく笑う 話をよく聞く ・電話をかける ・会ってお茶行こうと連絡をする ⑩. いつでもだれでも行ける場所がある ・外出する 広範囲 ・何事も色々な人と一緒に仕事をする ⑤. 家族皆が元気でいる ・採血の結果を連絡する	⑥. 優しい家族を作る ・外出しても夕食は主人が1人で作って食べていく ・家族に友達は大事に！ ・広範囲で外出するので外出を理解してくれる様に ⑤. 家族皆が元気でいる ・自分でできる事はやってみよう ・主人の理解 お互いの自立 ・家族が私が遊ぶ内容をよく知ってくれている ・子供 いろいろ相談する ⑩. 自分の好きなことができ ・自由にマイペースで過ごしています ・携帯を掛け放題にしても	⑧. 親しい友人を作る ・子供の同窓会の親会で会えるつながり ・いつも誘われる嫌がらずに行く ⑥. 優しい家族を作る ・笑顔 忘れないでください ③. 人の役に立つことができ ・何でも何時でも相談手助けをしてくれる友人が多い ・お世話してくださる方 ④. 近所とのつながりを作る ・誘ったら来て欲しい	その他 ・市の食品加工場 ④. 近所とのつながりを作る ・地域の行事に参加すること ⑩. いつでもだれでも行ける場所がある ・気楽に参加できる場所があたたかいな ・何事も気楽に話し合いの場所 ・ドトールのようなコーヒード	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	糸心塔恵利のとき大災害のとき
他者の状態	認知症なし	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	買い物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ憶えたいで意思の疎通が困難
人 個 76	③. 人の役に立つことができる ・見守りをする ・台風とか気候の変化に注意を促す ・今一番うれしいこと 大家族7人大事に思ってくれる ・どんなことでも興味を持つ ・日ごろの不満はありません ・ゴミ出しを手伝う ・ゴミ出しとか買い物などして手伝ってあげたい ・行事とかゴミ出し等再度その日に連絡をする ・買い物を手伝ってあげる ・ボランティア ・声かけをする ・昼など家族がいなくて一人でいられる人を気にかけてあげたい ・顔を見なかったら声かけをした ⑥. 優しい家族を作る ・必ず笑顔で接する ・声かけを心掛ける	なし	⑧. 親しい友人を作る ・関わりたくなってマンションに住んでいる人もある ・見守ってほしい ③. 人の役に立つことができ ・挨拶運動から地域のつながりを持つ	④. 近所とのつながりを作る ・マンションの孤立化を防いで ・マンションの隣近所のつながりをもてる仕組み ④. ユニバーサルデザイン ・お一人暮らしとか高齢世帯が台風等が来る前に人を寄せる場所		

他者の状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	大災害のとき
家族	⑤ 家族皆が元気でいる ・健康に特に気を付ける ・運動をする(2) ・散歩は必ず1時間は歩いてい る ・脳トレのために後ろ向きに歩く ・自分の役割、家事いろいろ ・食事に気を付ける(3) ⑥ 優しい家族を作る ・家族の輪 ・特に家族に迷惑をかけないよう ・家に気を付ける ・自分のことは自分でする ・家に閉じこもらず、出掛ける ・なにか趣味をもつ ・旅行 ・人と話をする、声を出す ・認知症の予防(スリーAゲームなど) その他 ・今は一人でできるので深く考えたことはないです。	⑥ 優しい家族を作る ・隠し事なく話をして、自己決定させてほしい ・家の中に閉じこもらず、外に出てほしい ・旅行 ・娘が来た時には話をしているけども、心配しなくてよいから今足もいたくないから旅行をして楽しんでと言われている ・健康でいてくれることがなによりと言っている ⑦ 認知症の知識を持つ ・家族が一番！認めたくないと思うので、自分の病気が理解できるように説明してほしい ・いろいろなことが出来なくなっても優しくしてほしい ・認知症になると同じ話を何回もすると思うけど、気長に聞いてほしい ・こまめに水分摂取を促して	④ ご近所とのつながりを作る ・いろいろな集まりに誘ってほしい ・近所の住民に声をかけて誘ってほしい ・徘徊などしても気を付けて見守ってほしい ・地域の活動に参加したい ・地域で友達をつくる ・認知症予防事業に参加する ⑦ 認知症の知識を持つ ・偏見なく(家族を含めて)今まで通りに接してほしい	④ ご近所とのつながりを作る ・コミュニティ場所(2) ・気軽に会話ができる場 ・カフェとかゆっくりお茶をしながら話をする ・いきいき活動を増やしてほしい ・矢間は自治会館が狭いので、いきいき元氣倶楽部をしてもえなくなりました。歩いて元氣な方しか参加できなくなりました。 ・認知症カフェを小単位でできればよいと思う。矢間から多田公民館に行ける人は限られている ・男性が通いやすい場所が欲しい ⑩ いつでもだれでも行ける場所がある ・認知症の人も集まる場所が欲しい ・認知症の方でも安心して買い物ができる理解ある焦点を増やしてほしい 17 男性も集える場 ⑫ 困っている人を早く見つけることができる ・認知症サポーター等理解者を増や	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	大災害のとき ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活 は自立している	認知症はあるが自分で日常 生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活がで きる	常に介護な どの支援が 必要	系患増悪期 のとき 大災害のと き ほほばたき りて意思の 疎通が困難
行政 部局〇 〇 ・ 部局〇〇 ・ 部局〇〇	⑬.わかりやすい介護保険の広報 物 ・介護のサービスについてよく わからないのでわかりやすくし てほしい ・認知症のテストを受ける ・リハビリに行く ・リハビリ施設などの情報を集 める ⑭.相談をする ・介護度の説明を包括やケアマ ネジャーに聞いてほしい ・私の場合は地域包括支援セン タに相談する ⑮.困っている人を早く見つける ことができる ・同じことを何回も言ったらお かしいねと言って。	⑯.優しい家族を作る ・通院に付き添って。 ⑰.相談をする ・病状説明はきちんと自分を 含めてほしい ⑱.認知症の知識を持つ・ ・内服の手伝い	なし	⑫.ユニバーサルデザイン ・介護施設をたくさん作って ①.相談をする ・64歳以下の相談先がわからない ⑬.わかりやすい介護保険の広報物 ・リハビリができる施設 ・若年性認知症の方への対応	常に介護な どの支援が 必要 着替え、食 事、トイレ 等がうまく できない	系患増悪期 のとき 大災害のと き ほほばたき りて意思の 疎通が困難

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				系 忍 垣 恋 羽 のとき 大災害のと き
他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
79 個人	⑤ 家族皆が元気にいる ・ ストレスをためないよう ・ 食後20分朝晩歩く ・ 朝ラジオ体操に行く ・ 仕事をもち続ける ・ 里山ハイク ・ 健康検査をきちんとする ・ 年賀状を書く ・ 元気に送り出す ・ 笑顔で送り出す ⑥ 優しい家族を作る ・ 家事を手伝う ・ 食事以外は自分でやっていく ⑦ 認知症の知識を持つ（疾病限定） ・ 認知症の知識を持つ ⑧ 親しい友人を作る ・ まだ仕事に2時間行ってもまだ ・ 地域にあるサークルに積極的に参加する ・ スポーツセンターに行く ・ カラオケ ・ 麻雀 ・ 競馬	⑤ 家族皆が元気にいる ・ 家族も健康検査を受ける ・ 夫婦でスポーツセンターに行く ⑥ 優しい家族を作る ・ 美術館めぐり ・ 主人と旅行する ・ 夫婦で助け合って家事を行う ⑦ 認知症の知識を持つ ・ 認知症の知識を持つ	④ ご近所とのつながりを作る ・ 挨拶（近隣、マンション内） ・ つながりを大切にする ⑥ 親しい友人を作る ・ 菜園活動 ・ ラジオ体操 ・ 多世代との交流 ⑦ 認知症の知識を持つ ・ 認知症の知識を持つ	⑧ 親しい友人を作る ・ 長く働ける場所がある（リタイア後も働ける場所がある） ・ 里山歩きの企画② ・ サークル ・ 囲碁クラブ ・ いろんな世代との交流 ・ 友人作りの場 ・ 沢山のサークル ⑩ いつでも誰でも行ける場所がある ・ コンビニが欲しい。	

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）					系志研のとき 大災害のと
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭取等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
会って楽しい知人がたくさんいる 80	⑨親しい有事を作る ・友人とのおしゃべり旅行 ・会社のOB会に参加する ・定期的に食事会 ・友達作りのために色んな所へ行っている ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・同窓会に継続参加する ・多くの趣味を持って出かける日がたくさんある ⑪自分の好きなことができる ・コーラスのサークルに入る	⑥優しい家族を作る ・家族が後押しする ⑩自分の好きなことができる ・多くの趣味を持って出かける日がたくさんある。	④ご近所とのつながりを作る ・地域交流会に参加する ・老人会や自治会など ・地域の中で役割をもつことで仲間を作る ・新しい仲間も受け入れる ⑨親しい友人を作る ・皆が人とのつながりを大事にする	④ご近所とのつながりを作る ・多世代を超えた地域交流会 ⑨親しい友人を作る ・カラオケや、趣味を楽しむサークルがたくさんある ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・いつでも行けるサロン ⑪自分の好きなことができる ・菜園で作った野菜を使った食事会の開催		

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）					
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭仮等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	系患垣恣朔 のとき 大災害のと き ほぼ寝たき りで意思の 疎通が困難
地域資源 ・ デイの送迎 車等 ・ コンビニ ・ 新聞配達 ・ 宅急便 81 ・郵便局 ・ 放送局 ・ 警察署 (たぐさ ん)	②困っている人を見つける 緊急時対応 ・一人暮らしの方への声掛け(2) ③人の役に立つことができる ・見守り隊を続ける ・自治会参加 ⑦認知症の知識を持つ ・認知症の知識を持つ	⑦認知症の知識を持つ ・認知症の知識を持つ その他 ・主人と臓器提供の意思表示	③人の役に立つことができる ・見守り隊を続ける ・地域カフェの手伝い ・体の具合の悪い老人を送り届け鍵を開け、水を飲ませた(積極的に行う) ・親切をおせっかいと思わない ④ご近所とのつながりを作る ・地域の方に声掛け日常的につながりを持っておく ⑦認知症の知識を持つ ・認知症の知識を持っていて欲しい ・認知症の会があれば参加	②困っている人を早く見つけることができる ・緊急時救急車を呼ばなくても搬送してくれる方々がいる(110番を使います) ・緊急時に対応してくれる方々がいるとよい		

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）
他覚的な状態	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立 ④ご近所とのつながりを作る ・若いうちからきちんと挨拶する ・町会に入る。入って知り合う 顔見知り ・つながりを普段から持つ ②困っている人を早く見つけることができる ・民生委員に連絡する ⑩自分の好きなことができ る ・できることは自分ですること ・いけないようにしている ・毎日歩くようにしている
地域住民 ・民生委員 ・老人クラブ ・PTA 8月 ・サークル ・その他（たくさん）	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立 ④ご近所とのつながりを作る ・挨拶 ・町全体で助ける ②困っている人を早く見つけることができる ・警察がもっと地域に出てほしい ・一つの案件の時間が長い（拾得物を届けたら半日もかかった！）
	常に見守りがあれば自分での生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい 常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない 糸心母恋別 のとき 大災害のとき ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	糸原町の高齢者のとき大災害のとき
知人がたくさんいる。	④ご近所とのつながりを作る ・町会に参加 ・老人会に参加 ⑤家族皆が元気である ・スポーツ21に参加 ・草引きしている ・転倒しないように気をつける ・毎日歩く ・寝込まないようにしたい ⑥親しい友人を作る ・出て行って顔を合わすようにする ・病気のことは知られたくない ⑩自分の好きなことができる ・趣味の会に出る ・出来ることは自分でする ⑩わかりやすい介護保険の広報物の作り方と渡し方 ・町会の広報	⑤家族皆が元気である ・元気に出て行って、元気に帰ってくる(2) ⑥優しい家族を作る ・見守ってほしい ・好きなことをさせてほしい ・甘えてほしい ・おいしくご飯を食べてくれる ⑩自分の好きなことができる ・好きなことをさせて欲しい	③人の役に立つことができる ・病気の時は構わないでほしい(お互い様やから、かえって気を使うから) ④ご近所とのつながりを作る ・明るく声をかける(挨拶から) ⑦認知症の知識を持つ ・認知症は病気であると理解してほしい ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・外に引っ張り出してほしい	④ご近所とのつながりを作る ・カラオケへの近所からのお誘い ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・カラオケ	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭仮等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	禁忌増悪期 のとき 大災害のとき ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
デイの送迎車等 ・ コンビニ ・ 新聞配達 ・ 宅急便 ・ 郵便局 ・ 放送局 ・ 警察署 (たくさん)	①相談をする ・困ったことがあったら、民生委員や町会長に相談する	④ご近所とのつながりを作る ・普段から挨拶はきちんとする ・地域にも顔を出してほしい ⑥優しい家族を作る ・家族間の理解	②困っている人を早く見つけることができる ・グループ内で窓口を作つて開く(何回も何か聞かない) ④ご近所とのつながりを作る ・「会ったとき」を大切に	②困っている人を早く見つけることができる ・警察からもこんな人見つけたら連絡をくださいと言ってくれてもいいと思う		

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいのか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）	緊急増悪期のとき 大災害のとき
他覚的な状態	認知症なし	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない
地域住民 民生委員 隣人クラブ PTA 〇〇サークル その他 (たくさん)	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は ④.ご近所とのつながりを作る ・気配り声掛け ・挨拶 普段からのお付き合い ・近所への声掛け ・お互いに声をかけあう ③.人の役に立つことができる ・一人暮らしのお年寄りの話を聞いたりする ・お互いに協力し合う ・気持ちを持ってほしい ・近所の方と一緒に旅行に行く ・老人会にはいり、サークル等に入る ・自治会活動に参加する ②.困っている人を早く見つけることができる ・困った時に「助け	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難 ⑩.いつでもどこでも行ける場所がある ・年寄りと子供が触れ合う機会・場所

他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき 大災害のとき
知人がたくさんいる	⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・行事に参加するよう心がけている ・おしゃべりしながら体を動かす ⑫自分の好きなことができる ・趣味を持つ ⑤家族皆が元気でいる 20.子供のスポーツに一緒に参加する	④.ご近所とのつながりを作る ・犬の散歩でお会いする人はみな友だち ・自分のことは自分でする ・食事の当番を順番にしている ・暇な時、同じ趣味の人と集う	④.ご近所とのつながりを作る ・子供たちと一緒に給食を食べる ⑫自分の好きなことができる ・コミュニティで所作り	④.ご近所とのつながりを作る ・年寄りと子供が触れ合う機会、場所 ⑩いつでもだれでも行ける場所がある ・気軽に集まれる場所 ・ボールを使って遊べる場所が欲しい	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
86 行政 部局〇〇 ・ 部局〇〇 ・ 部局〇〇	②困っている人を早く見つけることができる ・困っている人の方への声掛け ・地域の助け合い クレーンダンプの時のお互いにお手伝い			①相談をする ・困った時〇〇〇〇ある時相談できる機関があれば、 ④.ユニバーサルデザイン ・集合場所に車いすが置いてあったら、もしもの時に利用できていると思う ・集会所があるが、一階に広い場所が欲しい ・足等悪い人等二階に上がれないので。	⑬.わかりやすい介護保険の広報物 ・必要な時にすぐに住宅改修をしたい ・介護の手続きの簡素化 ・書類の用紙が難しく書きにくい ・欄も小さくて書きにくい ・手続きするのが煩雑で大変	

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				系患増悪期 のとき 大災害のと き
他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
	⑥. 優しい家族を作る ・コミュニケーションを取る ・相手の気持ちを理解する ⑤. 家族皆が元気にいる ・健康管理・栄養バランス食事（3色）を考えている ・毎日（平均）8000歩歩行をする ・元気で長生き出来るように歩いています ⑧. 親しい友人を作る ・現在やっている教室を続ける ・毎日6人で30分のウォーキングを長年続けています心身両面に効果がありますよ ・いろいろなグループに入っていて、バドミントン、卓球、コーラス、体操等毎日忙しくしています	4. ご近所とのつながりを作る ・健康管理をして、身体を大切にしたい ⑥. 優しい家族を作る ・家族で散歩や軽い運動をする ・料理の差し入れ ・私が元気であるよ！とい うのが安心してくれる要因となると思います。健康でいることが大事だと います ⑤. 家族皆が元気である ・ニュースで仕入れた事は発信する ・お互いに気づく事、注意 ・何でも出来る事は協力してほしい	④. ご近所とのつながりを作る ・ご近所と仲良くする ご近所と挨拶をする ご近所と会話をする ・今まで通り老人会の催し ・地域住民との連携がほし い ⑧. 親しい友人を作る ・一人暮らしの住民との交流を深めたい ・姿が見えなかつたら声かけを進めて欲しい ・ふれあい喫茶や地域のグループの中の行事に参加し、まだ役には立っていると思います ・地域住民の助け合いが欲しい。心のふれあい	⑧. 親しい友人を作る ・肩を張らないで相談できる時間 ・体を動かす話をする ・近くに体操教室や料理教室など ・気軽にに行ける喫茶店の様な場所があれば… ・地域にもっと公園があれば楽しめる	

87 個人

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分での日常生活は自立している	見守りがあれば自分での日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	糸心垣恵那のとき 大災害のとき
地域住民 民生委員 ・老人クラブ ・PTA ・88 Oサークル ・その他(たくさん)	⑧親しい友人を作る ・ご近所の方と自宅を開放して持ち回りでお茶会と会話 ・友人に声をかけて、友が友を呼ぶ ・矢問には子育て支援で「カンガルー」があるの ・でクリスマスに親子と一緒に楽しんでいます ・地域の婦人会のグループで八幡様の掃除や秋祭りの手伝いでおにぎりを作っています ・応援したりで、行事には手伝いをしています ④ご近所とのつながりを作る ・声かけをする ・閉じこもっておられる近所の方に出て来て下さい	④ご近所とのつながりを作る ・ご近所の方に声かけをする様にしたい ⑥優しい家族を作る ・優しい物のお手伝い ・家族も協力してほしい	⑧親しい友人を作る ・特に一人暮らしの住民に声かけし、グループ仲間として大切にしたい ・食事会、お茶会を開催する ⑩いつでもどこでも行ける場所がある ・近くに公園が欲しい ・若い人達が地域活動に参加してほしい ・出来るだけ多くの人の参加を呼び掛ける ⑨親しい友人を作る ・キッチンマットを作っ ・てプレゼントをする	⑩いつでもどこでも行ける場所がある ・ふれあいバスが欲しい ・巡回バスを定期的にだす(でかけるのため) ・地域を回るバスがあれば... ・駅前の駐輪場 ・お出かけ支援 ④ご近所とのつながりを作る ・地域で集まれる機会を作ってほしい ・近くに広場があればグループで楽しめる ②困っている人を早く見つけることができる ・引きこもっている方が出て来られる様な事をしたい	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	系思自恋期 のとき 大災害のと き ほぼ寝たき り で意思の 疎通が困難
地域資源 デいの送迎車等 ・コンビニ ・新聞配達 ・宅急便 ・郵便局 ・放送局 ・警察署 (たくさん)	②困っている人を早く見つけることができる ・声をかける ・声をかける、会話、案内 ・常にコミュニケーションを取り、相手の事を知っている様にする ③人の役に立つことができる ・ゴミ出しに困っている人と一緒に出す ・ボランティアグループに入っているので、湯々館に月3回行っている。 ・風呂上りの髪を乾かす事、ドライヤーをかける、からおしゃべりをする、話を聞くもある	④ご近所とのつながりを作る ・家族の協力が必要 ・家族には友人の紹介(内容)を常に話をする ⑤家族皆が元気でいる ・人のお役に立てる様元気になる	④ご近所とのつながりを作る ・地域の方と気軽に話せる様に ・お互いに声かけ出来る雰囲気	③親しい友人を作る ・一休みできるベンチがある ・一息つける場所が欲しい ・公園にベンチがほしい		

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいのか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）					
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき 大災害のとき
個人	⑤ 家族皆が元気にいる ・毎日ウォーキングする ・仕事 ・ストレスをためない ・趣味を持つこと ・カラオケをする ⑥ 親しい友人を作る ・体操に通っている	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立 ⑥ 優しい家族を作る ・家族との食事会 ・共通の話題 ・家族と仲良くする ・思いやり ④ 近所とのつながりを作る ・あまり接触しない ・あいさつ	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭返等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立 ④ 近所とのつながりを作る ・干渉しないでほしい ・ほっといてくれ ⑥ 親しい友人を作る ・グループの会話 ・和琴の稽古 ・コーラス ・いきいき元氣クラブを自治会でする ・カラオケをする場 ・認知症専門部会 ・地域の話し合いの場 ・グループで旅行 ・友人と旅行 ・地域の旅行 ③ 人の役に立つことができる ・連絡しあう ・助け合う ・ごみ当番がうまくいくようにする	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい ④ ユニバーサルデザイン ・公園に運動器具	常に介護などの支援が必要 替え、食事、トイレ等がうまくできない	緊急増悪期のとき 大災害のとき

他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日 常生活は自立している	認知症はあるが自分で 日常生活は自立してい る	見守りがあれば自分で 日常生活ができる	常に介護な どの支援が 必要	緊急増悪期 のとき 大災害のと き
家族	⑤ 家族皆が元気である ・健康でいて家族に負担をかけない ・自分の健康を維持する ・自分自身が健康に気を付けて ・食事を大事に栄養を考える ⑥ 優しい家族を作る ・思いやる	⑥ 優しい家族を作る ・なんでも相談する ・隠し事をしない ・目標を同じくする ・食事を一緒に ・細かく色々と言わな い ・家族があつてのボラ - ンティア活動 ・好きなようにさせてあげる	買い物や事務、金銭返等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立 ⑦ 認知症の知識を持つ ・オレンジリングを広める ・認知症のことを家族や若い人に勉強してほしい ・認知症の勉強は50代から ・認知症になったらやさしくしておしえる ・当番制にする	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	替え、食 事、トイレ 等がうまく できない	ほぼ寝たき りで意思の 疎通が困難
戸田政任氏 民生委員 ・老人クラブ ・PTA ・〇〇サークル ・その他 (たくさん)	④ ご近所とのつながりを作る ・あいさつする ・地域のことを知る ・周りの人と仲良くしている ・人の邪魔をしない人に声をかける		④ ご近所とのつながりを作る ・電話番号を教える ・相談に乗る ③ 人の役に立つことができる ・食事を運ぶ（1か月間） 近所の人のゴミだし			

できあがりの姿

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）				系患垣恋期 のとき 大災害のと 大災害のと
他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭返等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難
個人	⑤家族皆が元気でいる - 足腰を鍛える - 健康のために動く - 健康のために体を動かす - 運動 - 糖質改善 - 食事（栄養） - 食事に気を付ける - 健康管理（2） - 食事 - ストレスをため込まない - 笑顔で暮らす - 感謝を伝える ⑧親しい友人を作る - スポーツクラブ - 遊びに出かける ⑥優しい家族を作る - フライングを守る - 話す 会話をする - 皆で食事をする	⑥優しい家族を作る - 共通の話題 - 家族と仲良くする - 思いやり - 感謝の言葉を聞きたい - 会話を大切に - 会話 - ゆっくり話を聞いてほしい - 悩みを聞いてもらわない - 私をあまり怒らないでほしい - 家の片づけを早くする ⑤家族皆が元気でいる - 断酒会（妻に感謝） - 週1回一緒に参加 反省 感謝 報恩	③人の役に立つことができる - 声の掛け合い - 役員をしている主人を応援 - ボランティアに参加 ④近所とのつながりを作る - ありのままに知っていただく対話 - 気持ちのいいあいさつ - あまり近所付き合いがないので近所とコミュニケーションとれる - 催しに参加 ⑧親しい友人を作る - サロンに参加 - 松竹での集まり希望	⑩いつでもどこでも行ける場所がある - 自治会員でなくても利用できるようにならねあいサロン - 介護の勉強会 - 栄養（料理）指導 - 無料の講習会 ⑩黄色いハンカチ作戦 - 年を取ってきで大掃除がだんだんできなくなってくるので若い方が手伝ってくれると助かる ⑨親しい友人を作る - 手を動かしておしゃべり海（手芸・折り紙） - 手先を使う編み物	

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している 物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	認知症はあるが自分で日常生活は自立している 買い物や事務、金銭返等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	見守りがあれば自分で日常生活ができる 服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	常に介護などの支援が必要 着替え、食事、トイレ等がうまくできない	発症直後のとき 大災害のとき
地域住民 民生委員 老人クラブ PTA ○○サークル その他(たくさん)	④.ご近所とのつながりを作る ・会った時には声をかける ・声かけ あいさつ ・あいさつ 会話をし知ってもらう ・声かけ (2) ・隣近所の方が声をかけやすい自分でいたい	⑥.優しい家族を作る ・感謝する ・ラインで情報を伝える ・お互いに思いを伝える ・よう ・家族に助けてもらうことが増えて、時々食事誘うこと ③.人の役に立つことができる ・車の送迎	①.相談をする ・社協さんの役割をよく知らない。どこへ連絡してよいか知らない。 ③.人の役に立つことができる ・自分にできることがあるか ④.ご近所とのつながりを作る ・大げさなことではなくちょっとした話し相手	⑩.いつでもどこでも行ける場所がある ・自治会員でなくても利用できる場所 ・家族の体験談 気づくことから行動過程について ・地域での体操 ⑦.認知症の知識を持つ ・認知症について本人 ・地域の皆が興味を持っていてほしい ⑧.相談をする ・いろいろな相談場所が地域の公民館があればいいですね ⑨.親しい友人を作る ・サロン ひろば 参加者への呼びかけ		

できあがりの姿

22

課題	認知症の人・家族を、地域で支えるためにはどうしたらよいか。（「このようだったら嬉しい」ことを書き出す。）						
他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき大災害のとき	
		物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成を含め、日常生活は自立	買い物や事務、金銭反等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者の対応などが一人では難しい	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思疎通が困難	

他覚的な状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のとき大災害のとき
	⑤ 家族皆が元気でいる ・食事づくり 一緒に買い物に行ったりとき重量物を持つ ・母の健康管理 ・健康で家族に迷惑をかけずにため健康スポーツをしている 自分の健康も大事 ・息子には迷惑をかけるように ・素直にありがとうをいうこと ⑥ 優しい家族を作る ・時々様子を見に行く ・世間話 ・仲良く楽しくおしゃべりする ・人の話を聞くこと ・困っている人の話を聞く ③ 人の役に立つことができる ・ボランティア	⑥ 優しい家族を作る ・もっとやさしくしてほしい ・子供たちから気にかけてほしい ・ありがたいと言ってほしい ・母に安心してほしい ・いつも生き生きしている姿を見せる ・子供たちに心配をかけると仕事など精神的に負担をかけるため健康でありたい ⑤ 家族皆が元気でいる ・食事づくりの協力を ・健康管理	① 相談をする ・困ったことがあったら相談できる場所（近くで） ④ ご近所とのつながりを作る ・気にかけてあげること ・声の掛け合い ・自治会以外のつながり ・地域のことを知り声がかけられる ・声の掛け合い	④ ご近所とのつながりを作る ・自宅の近くでちょっと立ちよって話ができる場所 ・誰でも行きやすい「集まり」 ・健康座談会のような寄り合いが多くあってほしい ・地域カフェ ⑦ 認知症の知識を持つ（疾病限定） ・ニーズに合った認知症カフェ ⑩ いつでもだれでも行ける場所がある ・市バスのなもの	着替え、トイ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難

95

家族

他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分で日常生活は自立している	見守りがあれば自分で日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期 のとき 大災害のとき
地域住民 民生委員 ・老人クラブ ・PTA ・○○サークル ・その他（たくさん）	④.ご近所とのつながりを作る ・あいさつ ・回覧板を持っていくとき ・声の掛け合い ・近所さん ⑤.親しい友人を作る ・友人などの悩みなどを聞いてあげる ・悩み相談を聞いて元気になってもらうこと ・困ったことや相談を聞いてあげる ・グチを言い合える ・互い大変やなこと ・人の話を聞いてあげる ・友達との長電話 ・お年寄りの話を聞くのが好きです ・友達の輪を広げていきたい（人は財産なり）	④.ご近所とのつながりを作る ・あいさつ ・グチを聞き流す ⑤.家族皆が元気でいる ・子供たちがそれぞれ幸せな暮らしをしてほしい ・母が安全にデイで暮らしてほしい ・自分が病気になった時すぐに対応してほしい ⑥.自分の好きなことができる ・黙って黙認してくれる	④.ご近所とのつながりを作る ・催しに参加すること ・急いでいないときは話を聞いてあげる ⑩.いつでもどこでも行ける場所がある ・趣味を生かしたものが多くあればうれしいです - スポーツ 95.認知症カフェでスタンプをしている ②.困っている人を早く見つけることができる ・一人暮らしの方の見守り	⑩.いつでもどこでも行ける場所がある ・公民館などの開放 ・集える場所 ・公の場所の無料開放 ・地域カフェ	着替え、食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思疎通が困難

他覚的な 状態	認知症なし	認知症が疑われるが日常生活は自立している	認知症はあるが自分では日常生活は自立している	見守りがあれば自分では日常生活ができる	常に介護などの支援が必要	緊急増悪期のあるとき大災害のとき
知人がたいてい	⑧ 親しい友人を作る ・ 優しい心使いができる ③ 人の役に立つことができる ・ 月に1度ランチでグチ大会 ・ 友達とランチ・シヨツピングをする ・ 話し上手・ユーモアのある人の交流を多く持ちたい ④ 近所とのつながりを作る ・ 一緒に旅行・買い物 ・ 大阪へ出て大阪の空気を吸って元気になる ・ 友人に今自分がしている活動を話してできれば共有していきたい	⑫ 自分の好きなことができる ・ いつ誰となど詳しく聞かないで ・ お土産を期待しない	⑩ いつでもだれでも行ける場所がある ・ 公民館などの開放 ・ 井戸端会議をできる場所	④ 近所とのつながりを作る ・ 地域で仲良くバス旅行 ・ 日帰り旅行があればよいと思う ⑨ 親しい友人を作る ・ 近所で食べるところお店が欲しい ・ 安くておいしいお店 ・ 居座る喫茶店など ・ 時間を気にせず粘れるお店		ほぼ憶たきりで意思の疎通が困難